

未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう ～カーボンハーフ～ かく新的ぎじゅつの開発 ～脱炭素社会の実げんへ～

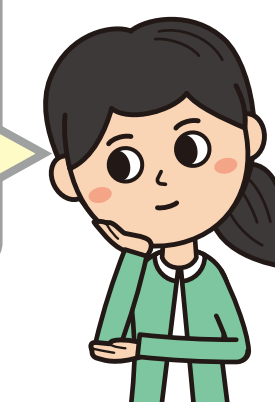
●脱炭素社会の実げんにつながる新しいぎじゅつの開発

脱炭素社会の実げんには、これまでになかった新しいぎじゅつの開発が必要です。そのため、いろいろな分野で、二酸化炭素(CO₂)をへらすための工夫や研究が進められています。



- ・さい生かのうエネルギーを使った発電ぎじゅつ
- ・水素を使って電気をつくるぎじゅつ
- ・電気を無駄なく使うための省エネルギーのぎじゅつ
- ・かんきょうにやさしく長持ちする電池を作るぎじゅつ
- ・二酸化炭素をしげんとして使うリサイクルのぎじゅつ

気になるぎじゅつについて調べてみよう。



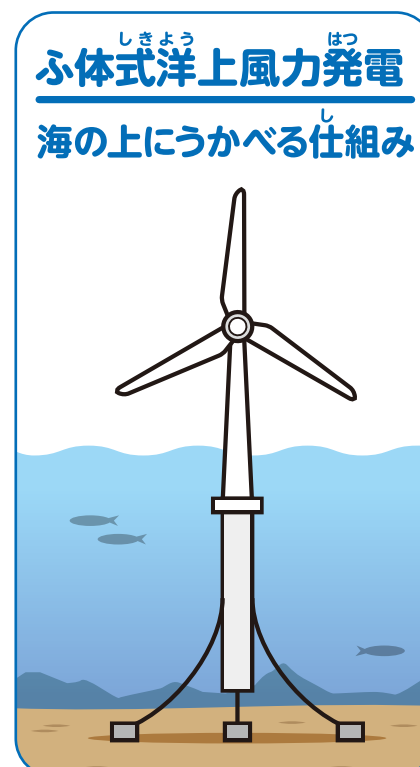
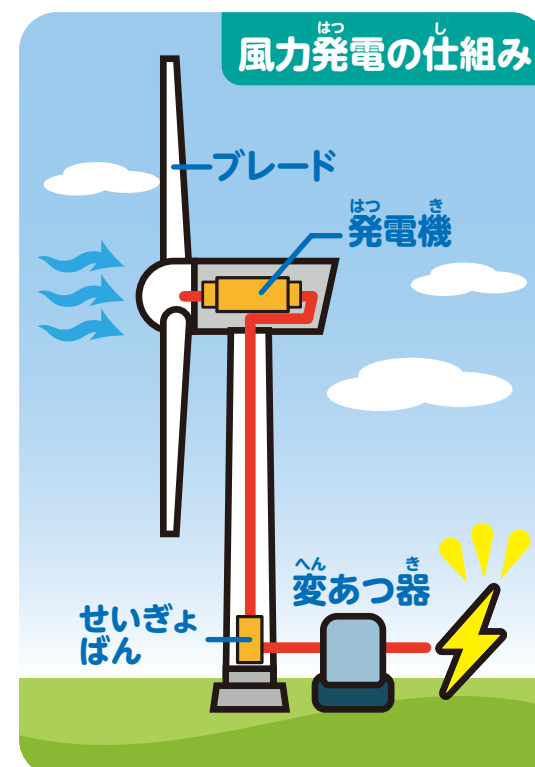
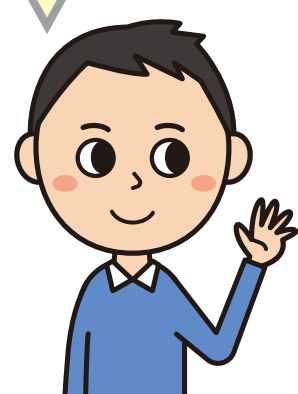
CO₂を出さない ふ体式洋上風力発電

風車を海の上にかべて電気をつくる風力発電が開発されています。海の上は風をさえぎるものが少ないので、こうりつよく電気をつくることができます。



長崎県五島市のふ体式洋上風力発電
出典：環境省

風車を陸上で作る場合とくらべて、どのような良いことがあるのかな。



CO₂のはい出をへらす 全固体電池

全固体電池は、えき体を使わず、全て固体でできた、じゅう電してくり返し使うことができる電池です。

多くの電池には、電気を流すためにえき体が入っています。このえき体は、もれたり、熱くなるともえたりすることがあります。このえき体は、もれたり、熱くなるともえたりすることがあります。材料を全て固体にした、より安全で長持ちする電池の研究が進められており、電気自動車のふきゅうなど、二酸化炭素のはい出をへらすことにつながることを期待されています。

全固体電池の良いところ

- えきもれが起こらない
- リチウムイオン電池よりもじゅう電時間が短くてすむ
- じゅう電できる電気の量が多い
- 暑さや寒さに強く、長持ちする

わたしたちの生活に欠かせないものになりそうだね。

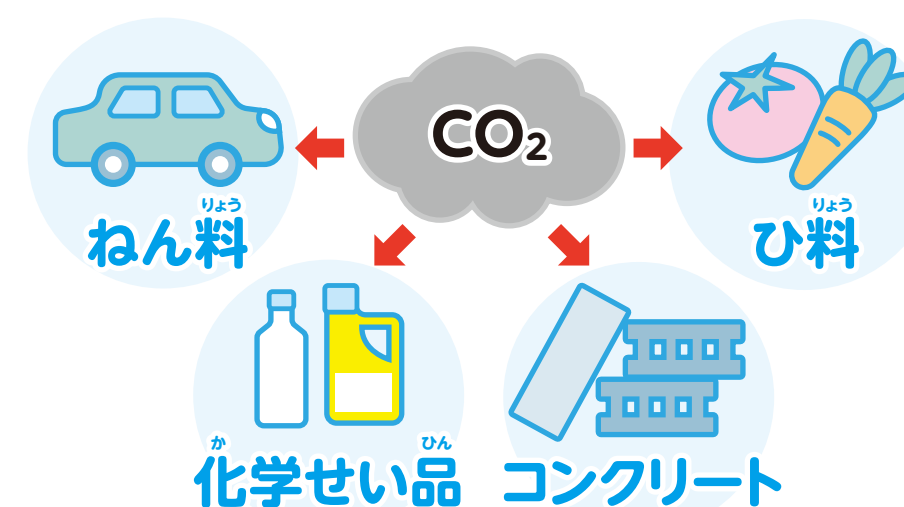


こんなことに使われるようになる

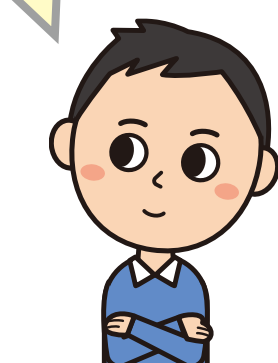


CO₂をさい利用する カーボンリサイクル

工場や自動車などからはい出された二酸化炭素を回収して、しげんとしてさい利用することをカーボンリサイクルと言います。空気中にはい出される二酸化炭素の量がへるため、地球温だん化をふせぐことにつながります。



カーボンリサイクルを行うと、脱炭素社会の実げんに向けてどのような良いことがあるのだろう。



考えてみよう……

脱炭素社会を実げんするためには、どのようなぎじゅつがあると良いのか考えてみましょう。

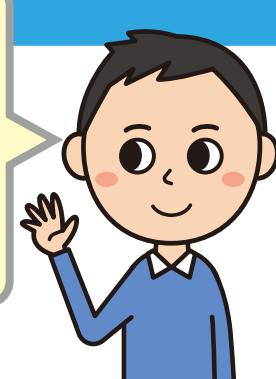
調べてみよう

再エネキッズシティ



[資源エネルギー庁]
https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saiene/kids-city/

さい生かのうエネルギーについて調べてみよう。

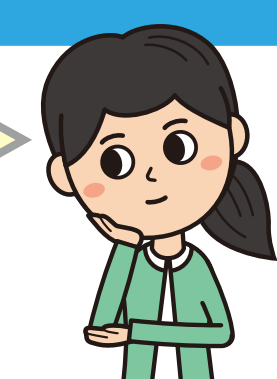


集まれ! グリーンフレンズ



[環境再生保全機構]
<https://www.erca.go.jp/jfge/greenfriends/>

地球かんきょうのためにできることを調べてみよう。



HTT
TokyoTokyo